

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日 平成30年2月22日

主管学校名 埼玉大学教育学部附属幼稚園

PTA会長名 附属幼稚園 田所 豊
附属特別支援学校 仲田 政司

主管校	埼玉大学教育学部附属幼稚園
交流校	埼玉大学教育学部附属特別支援学校
実施活動名	① カンガルーシップ活動の意義の周知 ② 特別支援学校運動会応援ポスター作成 ③ 夏休み親子遠足 ④ 特別支援学校卒業式に贈るお祝いビデオレター、記念品の作成
実施日時	① 平成29年5月12日(金) ② 平成29年5月17日(水)、22日(月)、25日(木) ③ 平成29年7月31日(月) ④ 平成29年10月～平成30年2月20日(火)
実施場所	① 埼玉大学教育学部附属幼稚園 ② 埼玉大学教育学部附属幼稚園 ③ 埼玉大学教育学部附属特別支援学校小学部および日常生活訓練「しいのきハウス」 ④ 埼玉大学教育学部附属幼稚園3組および遊戯室
実施目的	本園PTA活動のひとつとして特別支援学校の生徒および保護者の交流を通じて、特別支援学校への理解と保護者同士の親睦を深める。
実施概要	
実施内容	① 幼稚園と特別支援学校のあゆみと、カンガルーシップ活動について理解を深める。 ② 今までの交流への感謝を込めて、特別支援学校の運動会応援ポスターを園児が中心となり作成する。 ③ 特別支援学校への遠足で全員でジェンガを踊るなどして、様々な活動を通してふれあいながら理解を深める。 ④ 三組園児が花を育て、特別支援学校の全学部卒業生および職員の先生方にお礼の気持ちを込めて押し花を作成し、キーホルダーにした。また、歌とお祝いメッセージのビデオレターを作成し、キーホルダーと共に贈った。
実施方法	① 幼稚園の保護者に対し担当のPTA理事が今までの園と特別支援学校の関わりやカンガルーシップ活動について説明し、理解を深める。 ② 幼稚園児が運動会応援ポスターの絵を描き、ポスターを作成。運動会当日に届け、特別支援学校授与セレモニーでお渡しする。 ③ 幼稚園児・小学生・保護者・教員は貸し切りバスで特別支援学校を訪問する。 参加者は特別支援学校の生徒・保護者・教員と一緒に遊び、またおもてなしを受けることで交流を深める。 ④ 附属幼稚園内において歌、ビデオレターの撮影。押し花キーホルダーの作成。
参加人数	② 約80名 ② 約100枚 ③ 埼玉大学教育学部附属幼稚園 園児21名 保護者21名 教員3名 埼玉大学教育学部附属小学校 児童6名 埼玉大学教育学部特別支援学校 小学部児童7名 中学部生徒12名 高等部生徒12名 保護者31名 教員10名 合計123名 ④ 30名

<p style="text-align: center;">内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 保護者を対象に今までの交流の歴史やカンガルーシップ活動についての理解を深めるために、資料を作成し理解を深めた。 ② 交流の感謝を込めて、特別支援学校の運動会応援ポスターを作成した。園児が応援メッセージや絵を描き、園児が主体となって作成した。模造紙に貼り合わせたポスターをPTA会長が運動会当日に授与セレモニーでお渡しした。 ③ 幼稚園児・小学生・保護者・教員は貸し切りバスで特別支援学校を訪問した。 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児・小学生・保護者は、はじめの挨拶として園歌を合唱した。 ・芝生の校庭でジェンカを保護者も一体となって全員で踊った。 ・特別支援学校の生徒と共に水鉄砲やシャボン玉などの水遊びをしたり、スイカ割をして楽しんだ。 ・特別支援学校の生徒の方が、スイカを切り分けてふるまってくれた。 ・特別支援学校の生徒さんに片付け場所を聞きながら、皆で協力して片付けをした。 ・全員で記念撮影をし、最後にお互いにハイタッチをして終了した。 ・幼稚園児・小学生・保護者・教員はしいのきハウスをお借りして、昼食をとり、帰宅した。 ・後日、お礼に交流時の写真と参加者からのお礼メッセージをスクラップブックしお渡しした。 ④ これまでの感謝の気持ちを込めて、特別支援学校の卒業生に向けて、卒業祝いのビデオレターと、園児が育てた花を使った押し花キーホルダーの記念品をお渡しした。
<p style="text-align: center;">報告事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 今までの交流の歴史や、カンガルーシップ活動についての資料を作成し、説明することで保護者の皆様の理解を深めることができた。 ② 有志だったが、ほとんどの園児が絵を描き、貼り合わせたところ、4枚のポスターが完成した。特別支援学校の運動会当日、PTA会長がポスターを届けたところ、セレモニーの時間を用意してくださり、保護者の皆様の前でお渡しすることができた。大変喜んでくださり、早速飾っていただけた。 ③ ジェンカは、園児にとって初めての踊りで難しいかと思われたが、特別支援学校の生徒のみなさんの後について踊ることができ、保護者も全員参加して、全体が一つになることができた。特別支援学校の生徒さんや保護者、先生方が、水鉄砲、シャボン玉、トランポリンやスイカなど準備をしてくださり、園児や生徒のみなさんは、思いっきり遊ぶことができた。特に水遊びでは、お互いに水鉄砲でかけあう場面もあり、年齢や言葉を超えて楽しむことができたのではないかと感じた。今年から園児も含めた片付けを試みたところ、生徒さんに片付け場所を聞きながら園児や幼稚園保護者は積極的に関わり、更に交流を深めることができた。終わりの会では、恥ずかしがるかと思われたが、最後のハイタッチを元気よくし、名残り惜しく解散となった。 ④ 幼稚園3組が主体となり、花を育て、感謝の気持ちを込めて押し花にすることができた。三学期になり、卒園が近づくと、小学校入学に向けて忙しくなるが、園児からの歌とお祝いビデオレターを撮影し、押し花キーホルダーと共に贈ることができた。
<p style="text-align: center;">結果</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ジェンカは、園児にとって初めての踊りで難しいかと思われたが、特別支援学校の生徒のみなさんの後について踊ることができ、保護者も全員参加して、全体が一つになることができた。特別支援学校の生徒さんや保護者、先生方が、水鉄砲、シャボン玉、トランポリンやスイカなど準備をしてくださり、園児や生徒のみなさんは、思いっきり遊ぶことができた。特に水遊びでは、お互いに水鉄砲でかけあう場面もあり、年齢や言葉を超えて楽しむことができたのではないかと感じた。今年から園児も含めた片付けを試みたところ、生徒さんに片付け場所を聞きながら園児や幼稚園保護者は積極的に関わり、更に交流を深めることができた。終わりの会では、恥ずかしがるかと思われたが、最後のハイタッチを元気よくし、名残り惜しく解散となった。 ④ 幼稚園3組が主体となり、花を育て、感謝の気持ちを込めて押し花にすることができた。三学期になり、卒園が近づくと、小学校入学に向けて忙しくなるが、園児からの歌とお祝いビデオレターを撮影し、押し花キーホルダーと共に贈ることができた。
<p style="text-align: center;">所感</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① カンガルーシップ活動の意義を知ること、積極的にイベントに参加して下さる家庭が増え、幼稚園主催の遠足だけでなく、特別支援学校主催のイベントにも保護者を含め約70名が参加した。応援ポスターの作成は、多くの園児や保護者の方が協力してくれ、お互いを意識するきっかけになった。 ② 一枚だけではなく、二枚描いてくださった園児が多く、模造紙に貼り合わせ、4枚もお渡しすることができた。運動会では、皆様の前でお渡しすることができ、その写真を幼稚園掲示板にて保護者の皆様に見ていただいたことにより、積極的に関わろうとする意識が芽生えたように感じた。 ③ 園児は普段、特別支援学校の生徒さんと接する機会がほとんどなく、このように実際に交流することは子どもたちにとって、年齢や言葉を越えた貴重な経験になったと感じた。相互の理解を深めていくためにも、この活動を続けていきたい。 ④ 敷地が遠く離れているため、ビデオレターという形になったが、感謝の気持ちとお祝いの気持ちをもって制作できた。

<p style="text-align: center;">添付書類</p>	<p>領収書 HP への掲載 可</p>
---	----------------------

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月22日
学校名	埼玉大学教育学部附属幼稚園
学年	年少～高校生

【特別支援学校運動会応援ポスター作成】

- ・運動会に行ってみたいな。
- ・お絵描き楽しかった。
- ・もっとたくさん描きたかった。

【夏休み親子遠足】

園児、小学生

- ・スイカ割りが楽しかった。
- ・水遊びが楽しかった。
- ・とっても楽しかった。あっという間に終わっちゃった。
- ・トランポリンが楽しかった。
- ・シャボン玉が大きくて凄かった。
- ・お兄さんたちとジェンカを踊れて、楽しかった。
- ・お兄さんと水かけっこが楽しかった。
- ・また今度遊びに行きたいな。
- ・もっと遊びたかった。また来たい。
- ・お兄さんが本当に優しくしてくれて嬉しかった。
- ・全部楽しかった。

支援学校の生徒

- ・水遊びが一番楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・水遊び気持ちいい。
- ・すいかがおいしかったです。
- ・とても楽しかったです。
- ・トランポリン楽しかった。
- ・行って良かった、楽しかった。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月22日
学校名	埼玉大学教育学部附属幼稚園

【特別支援学校運動会応援ポスター作成】

- ・盛大に授与式を用意していただき、喜んでいただけて良かった。
- ・直接応援はできないが、応援している気持ちは伝わったのではないかと思います。

【カンガルーシップ活動の意義の周知】

- ・カンガルーシップ活動とは何かを知る良いきっかけになりました。
- ・今までの園と特別支援学校の関わり方の歩みを知れて、より一層この活動の大切さがわかりました。
- ・今までのような交流会は是非続けていってほしいです。

【夏休み親子遠足】

幼稚園保護者

- ・準備や片付け等、一学期間ありがとうございました。大変とは思いますが、年に数回交流の機会があると嬉しいです。
- ・トランポリンが一番楽しかったようです。水遊び、シャボン玉、スイカ割もすべてできてとても充実した時間でした。特別支援学校のお兄さんお姉さん方が優しくサポートして下さり、嬉しく思いました。ジェンガも盛り上がって楽しかったです。
- ・水遊びなど、何かを一緒にやることで、子供たちも自然に交流ができたと思います。また支援学校のお兄さんお姉さんが園児を気遣い、リードしてくれている姿が印象的でした。参加できて本当に良かったです。
- ・お兄さんお姉さんの真似をしてジェンガを踊り、おいしいスイカを食べて大人も楽しかったです。
- ・誰でも楽しめるように準備されていて良かったです。PTAや保護者の皆様、安全面等子どもたちを見守っていてくれてありがたかった。支援学校のお友だちが、園児の手を取り一緒に仲良く遊んでくれました。
- ・準備をしてくださる方々の負担を軽減できる方法を検討し、このような活動を続けていけたらいいなと思います。
- ・貴重な体験をありがとうございました。一緒に食べたスイカが美味しかったです。
- ・改めてカンガルーシップ活動の意義を考えられる良い機会となりました。
- ・また遊びに行きたいと何度も言っています。来年を楽しみにしています。
- ・なかなか交流する機会がないので、良い経験になりました。
- ・来年もぜひ参加したいです。
- ・行動範囲も活動内容もとても良かったです。

特別支援学校保護者

- ・お天気に恵まれ楽しそうな子どもたちの笑顔が見れて、有意義な時間を過ごすことができました。
- ・小さいうちから交流に参加していただけてありがとうございます。
- ・スイカが好評で良かったです。
- ・簡素化した上に片付けをしてくれたので助かりました。
- ・水遊びが楽しそうで良かったです。
- ・幼稚園のお子様たちと同じ場所で遊べて、とても良い刺激になったと思います。

【ビデオレターと記念品のプレゼント】

・敷地が遠く離れているため、どのように交流を深めることができるか模索しました。親子遠足や特別支援学校主催のイベントに多数のご家庭が参加し、楽しい時を共有しました。その感謝の気持ちを込めて、子どもたちが育てたお花で押し花キーホルダーを作り、歌のプレゼントをしたいと思います。歌は【にじ】という曲で、東日本大震災の応援歌になった曲です。卒業後中等部、高等部への進学や社会に旅立つお兄さんお姉さんに、虹がかかったように晴れ晴れした気持ちで新しい一歩を踏み出していただけならと思いました。ちょうど制作に取り組むころ、幼稚園児は卒業に向けての取り組みや生活発表会の準備などで大変忙しい中でしたが、日々花の成長を喜び、押し花にして、たくさん歌の練習をしてくれました。そのような忙しい中での取り組みは子どもたちの心に刻まれ、今までの交流に更に輪をかけて、支援を必要とされる方々への理解を子どもたちの中にも深められたと思います。

・今年度初めての取組でしたので懸念材料はたくさんありましたが、保護者の皆様のご理解と先生方のご協力により、完成し無事お届けすることができました。